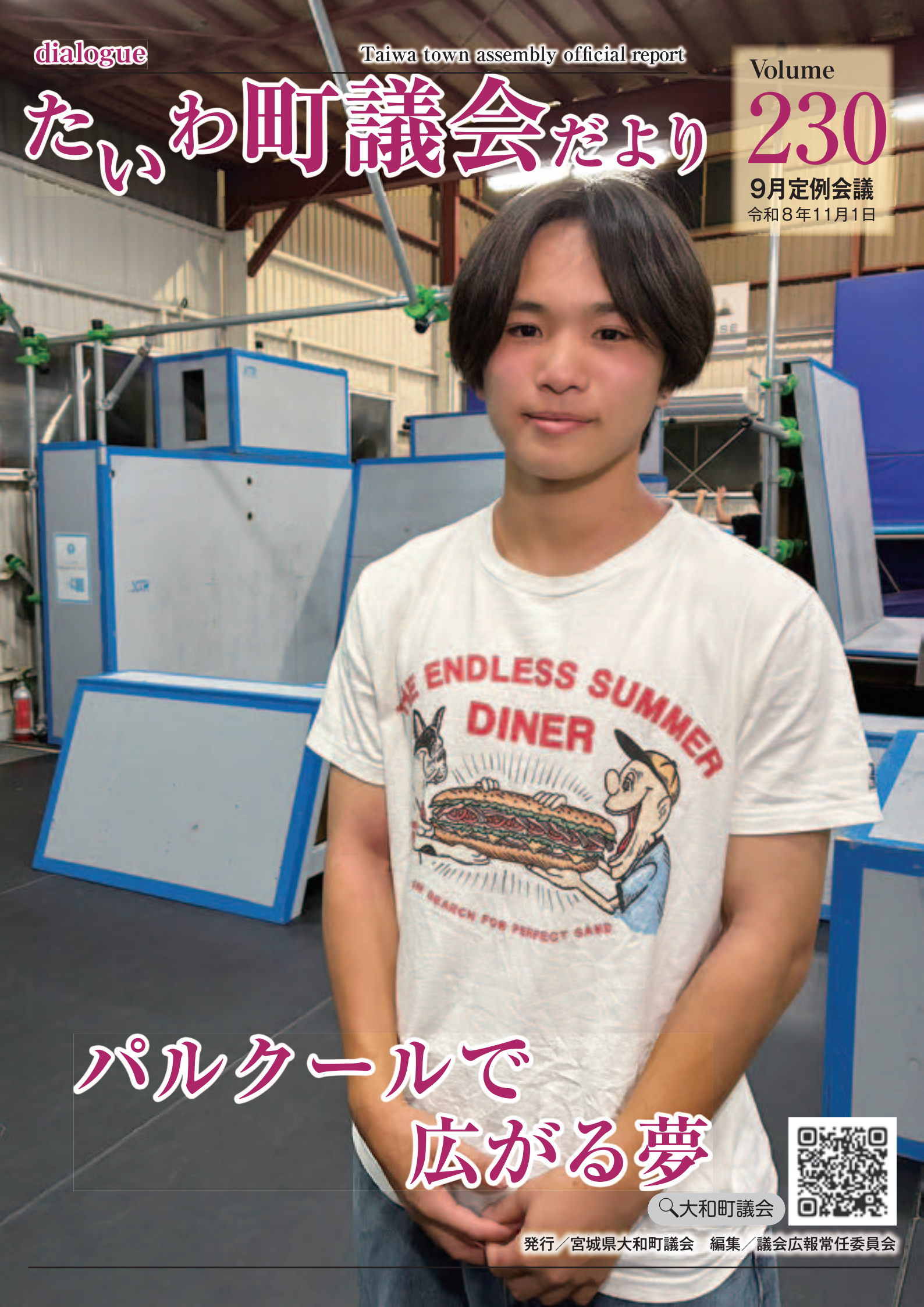
dialogue

Taiwa town assembly official report

たいわ町議会だより

Volume 230
9月定例会議
令和８年11月1日



パルクールで広がる夢

大和町議会

発行／宮城県大和町議会　編集／議会広報常任委員会

元気なくらしが広がる大和町へ

主要事業への町民の声を聞きました！

子育て　子育てがしやすいまちづくり



【子育て支援住宅管理費】
子育て環境に対応した管理運営を行い、入居者の居住環境の維持を図った。

子どもを小規模校に通わせたいという思いから、今の住宅に応募しました。地域との温かい関係性を含め、住宅の住み心地にはとても満足しています。入居ルールによりいずれ退去が必要になる点についても、理解の上で入居したこと、子どもの進学のタイミングなど受け止めています。ただ、もしこれが住宅の払い下げや延長があるのならば、子どもの進路や生活の選択肢がさらに広がるため、より良い支援になるのではないかと感じています。

（相川（あいかわ）さんご一家）



消　防　新消防庁舎が完成



【常備消防費】
新たな消防署への移転も完了し、消防及び救急体制の強化が図られた。

各地で大きな災害など、消防の役割は大きくなっていくと感じています。
最新の設備を使い有事に備えつつ、関係機関とともに連携をとり対応してもらいたいと思います。



（会社役員　勝又（かつまた）　秀悦（しゅうえつ）さん）

給　食　全ての児童・生徒に安全と安心を



【学校給食事業】
調理等事業を委託すると共に、衛生管理を徹底し、安全安心な給食を安定的に供給した。

給食は、学校生活の中の楽しみのひとつです。おいしい給食を食べると笑顔になれるし、午後も頑張ろうと思えます。水曜日のパンメニューが大好きです。もっと量が多いとさらに嬉しいです(笑)
いつもありがとうございます。



（中里（なかざと）さんご兄弟）

災害復旧　大雨災害の復旧を



【河川災害復旧事業】
令和７年５月31日の大雨により被災した準用河川について復旧を図った。

毎年のように台風や大雨で護岸が崩れる為、迅速に対応して頂き、助かりました。山田川は崩れやすく、未改修の場所も多いため、今後を考えると全面的な改修を検討して頂きたい。



（鶴巣山田地区長　鈴木（すずき）　稔（みのる）さん）

9月 定例会議

補正予算や損害賠償等請求事件の調停成立に関する議案など慎重に審議した。

令和8年度大和町一般会計補正予算

原案可決

令和8年度大和町一般会計補正予算第5号、第6号として、次のとおり議案が提出されました。

【第5号】
歳入歳出それぞれ2億2721万5千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ142億9005万6千円とする。

【第6号】
歳入歳出それぞれ3573万8千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ143億2579万4千円とする。

歳　入

款	項	補正前の額	補正額	合計
10 地方特例交付金		48,700	7,640	56,340
	1 地方特例交付金	48,700	7,640	56,340
15 国庫支出金		2,204,956	8,272	2,213,228
	1 国庫負担金	1,622,157	153	1,622,310
	2 国庫補助金	573,005	8,119	581,124
16 県支出金		954,489	△ 96	954,393
	1 県負担金	657,968	24	657,992
	2 県補助金	240,979	△ 120	240,859
18 寄附金		148,104	59	148,163
	1 寄附金	148,104	59	148,163
19 繰入金		1,074,098	8,801	1,082,899
	2 基本繰入金	1,063,030	8,801	1,071,831
20 繰越金		79,966	214,777	294,743
	1 繰越金	79,966	214,777	294,743
21 諸収入		492,611	23,500	516,111
	5 雑入	404,287	23,500	427,787
歳　入　合　計		14,062,841	262,953	14,325,794

（単位：千円）

歳　出

款	項	補正前の額	補正額	合計
1 議会費		148,318	△ 217	148,101
	1 議会費	148,318	△ 217	148,101
2 総務費		1,824,741	△ 32,100	1,792,641
	1 総務管理費	1,478,396	△ 28,365	1,450,031
	2 徴税費	187,033	△ 2,019	185,014
	3 戸籍住民基本台帳費	145,450	△ 1,308	144,142
	6 監査委員費	11,884	△ 408	11,476
3 民生費		4,958,063	△ 3,347	4,954,716
	1 社会福祉費	2,276,991	3,579	2,280,570
	2 児童福祉費	2,684,072	△ 6,926	2,677,146
4 衛生費		1,466,590	△ 4,533	1,462,057
	1 保健衛生費	798,866	△ 4,533	794,333
5 農林水産業費		621,111	25,931	647,042
	1 農業費	586,343	22,334	608,677
	2 林業費	34,116	3,597	37,713
6 商工費		310,742	1,631	312,373
	1 商工費	310,742	1,631	312,373
7 土木費		1,406,185	237,916	1,644,101
	1 土木管理費	154,584	6,731	161,315
	2 道路橋りょう費	622,607	211,677	834,284
	3 河川費	157,487	9,500	166,987
	4 都市計画費	426,268	△ 3,257	423,011
	5 住宅費	45,239	13,265	58,504
9 教育費		1,862,835	24,259	1,887,094
	1 教育総務費	463,992	1,694	465,686
	2 小学校費	235,962	4,640	240,602
	3 中学校費	348,540	11,521	360,061
	4 社会教育費	358,961	7,883	366,844
	5 保健体育費	455,380	△ 1,479	453,901
10 災害復旧費		17,085	13,413	30,498
	1 農林水産施設災害復旧費	4	9,914	9,918
	2 公共土木施設産業復旧費	17,079	3,499	20,578
歳　出　合　計		14,062,841	262,953	14,325,794

（単位：千円）

※歳入・歳出の表は、第5号、第6号の合計額。

大和町放置自転車等の処理に関する条例

原案可決

自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律に基づき、自転車などの放置の防止に関し、必要な事項を定める議案が提出されました。

【対象】
・自転車
・原動機付自転車

【放置自転車などの定義】
町が所有などする道路、公園その他公共の場所に放置されていると認められるもの。

【放置自転車などに対する措置】
移動を求める警告書を取り付け、取り付けた日から14日を経過してもなお、同一の場所に置かれているときは、自転車などを移動し、保管することができる。

【保管自転車などの返還】
返還の申出があった場合は、身分証明書などにより、利用者などであることを確認のうえ、返還を行う。
その際、それに要した費用を徴収する。

・自転車
1台につき1000円
・原動機付自転車
1台につき2000円

損害賠償の額を定め、調停を成立させることについて

原案可決

令和8年2月2日、大和町を相手方として仙台簡易裁判所に調停申立された大和町吉岡西部土地区画整理事業に伴う損害賠償等請求事件において、損害賠償の額を定め、調停を成立させることについて、議案が提出されました。

【損害賠償金】
183万9810円

委発 大和町議会基本条例の一部を改正する条例

原案可決

議会懇談会の位置づけを明確化し、町民や町内各種団体等の意見を政策提案に反映すると共に、議会報告会により議会活動の説明責任を果たし、議会の活性化に生かすため、条例を改正することについて、議会活性化調査特別委員会より議案が提出されました。

委発とは

「委員会発議」の略で、委員会が議会全体に提案する議案を指します。

関連記事

P・19 一目でわかる審議結果

令和7年度一般会計決算

令和７年度一般会計決算の歳出（使ったお金）を町民１人あたりにすると…

議会費 5,024円
議会の運営

総務費 7万9,787円
町民バス運営、地区集会所の改修、婚活イベントの実施など

民生費 18万2,202円
保育園運営、児童手当、敬老会や障がい者福祉など

衛生費 5万4,377円
基本健診、がん検診、予防接種、ごみ処理など

農林水産業費 1万9,927円
農業経営支援、農業環境整備、林業関係など



１人あたり
52万4,864円

商工費 1万1,114円
観光施設の整備やお祭り、企業立地の推進への奨励金など

土木費 5万5,800円
道路や河川、公園、町営住宅の整備・維持管理など

消防費 2万2,954円
防災、消防団など

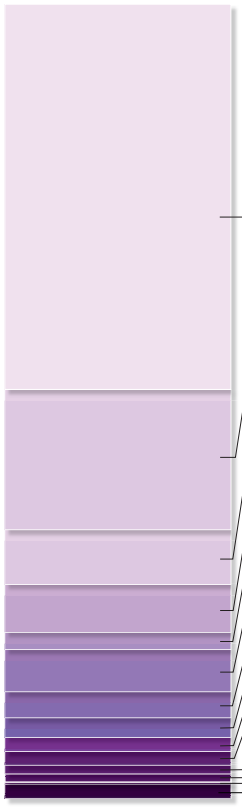
教育費 6万9,419円
小中学校、まほろばホールの施設維持管理など

災害復旧費 1,535円
災害で被害を受けた施設などの復旧

公債費 2万1,725円
地方債（借金）の返済

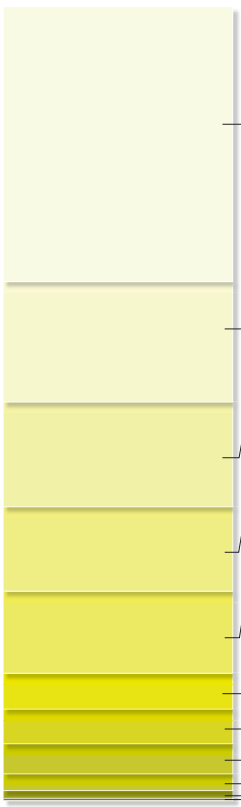
※令和8年3月31日現在　2万7,862人で試算

歳入　154億5,598万円



①地方税	72億5,245万円
②国庫支出金	26億4,228万円
③県支出金	10億2,920万円
④地方消費税交付金	9億352万円
⑤繰入金	8億2,413万円
⑥地方交付税	7億9,494万円
⑦繰越金	4億9,091万円
⑧諸収入	3億6,885万円
⑨財産収入・寄付金	2億6,612万円
⑩地方債	2億5,960万円
⑪地方譲与税	1億6,312万円
⑫使用料および手数料	1億5,575万円
⑬分担金および負担金	3,864万円
⑭その他	2億6,647万円

歳出　146億7,639万円



①民生費	50億8,380万円
②総務費	22億2,621万円
③教育費	19億3,692万円
④土木費	15億5,692万円
⑤衛生費	15億1,724万円
⑥公債費	6億6,571万円
⑦消防費	6億4,047万円
⑧農林水産業費	5億5,600万円
⑨商工費	3億1,011万円
⑩議会費	1億4,019万円
⑪災害復旧費	4,282万円

町はどんなことをやったの？

令和7年度 決算審査

各課の決算を細かく審査するため、決算特別委員会を設置し、５日間審査を行いました。





主要な事業は、現地も確認



審査進行を務める佐々木久夫委員長

行政区内交流促進事業

議員　どのような用途で使用されているのか。また、令和７年度を終えての振り返りと８年度への改善点は。

課長　自主防災組織の行事や行政区のお祭りなどでの使用が多い。交付前に内容を確認し交付、活用いただいている。

どういったことに活用できるか、区長へのＰＲを引き続き行っていく。（総務課）

コミュニティセンター管理

議員　各施設で維持管理費に違いがあるが、理由は。また、利用人数にそれほど差がない吉田・鶴巣の施設で使用料に差があるのはなぜか。

課長　施設ごとに保守点検の内容や人員配置の違いがあるため。

使用料は町内の方、町外の方で金額が異なる。町外の方で金額が増加する。町外の使用が多い場合、金額が増加する。回数のみでは比較できない部分がある。（財政課）

トイレカー

議員　災害が頻発しているが、トイレカーを派遣する際の基準は設けているのか。目的外にならない範囲で災害時以外の活用も模索するべきでは。

室長　明確な基準は設けてはいないが、遠方の災害への派遣は難しい。東日本が派遣できる範囲だと思われる。

災害での活用が最大の目的であるが、日常的な活用が訓練にもつながる。いざという時のために取り組んでいきたい。（危機対策室）



仲町納涼祭にて

財政調整基金

議員　金利上昇が見込まれ、公債費など町が払う金額が増えると推測される。災害があった場合など、財政調整基金に依存した運営を行うのか。それとも支出削減の予算編成をして対応していくのか。

課長　基本的には支出抑制のスタンスは継続となると思われる。しかし抑制ばかりしていくわけにもいかない。税収の伸び率などを見つつ、必要な支出を組んでいく形になると思われる。（財政課）

移住定住促進

議員　首都圏からの転入が無いようだが、どういったＰＲを行っているのか。地方への急な転入は難しいと考える。お試し移住の考えは。

課長　東京で実施しているフェアに参加している。

お試し移住については、調査研究を行っており、今後検討していく。（まちづくり政策課）

固定資産税

議員　町内の空き家が増加している。固定資産税への影響は。他の課との情報共有・連携は行っているのか。

課長　本町では、空き家も通常の家屋と変わらない形で課税しており、影響はない。

必要に応じて、他の課の窓口へ案内するなど、連携を行っている。（税務課）

基金収入

議員　貸付利子が上昇してきている。積んでいるお金の金利も上がってくると思うが、運用はどのような状態か。

課長　利子は昨年度から上昇傾向。昨年９月から今年３月まで６億円ほどを年０・５％程度の利回りで運用していた。満期後、引き続き運用しており、利率が上がったこともあり、現在は年１％の利回りで行っている。（会計課）

自転車競技場

議員　利用者が昨年度と比べて多い。自転車競技場は他の自治体にない本町の強み。競技人口増加が重要。競技場を見たことのない中高生もいる。興味を持ってもらえる取り組みを。

課長　利用者数の増加は、昨年度、大規模な大会が行われたことが大きい。引き続き大会誘致を進め、自転車競技を知ってもらう機会を作っていきたい。若い世代にも興味を持ってもらえるよう、前向きに検討していく。（生涯学習課）


本町の強みを生かして

障がい児保育

議員　障がいのある子どもがいる場合、保育士の人数を増やすなどの対応をしているか。

保育所の探し方について困っているとの話を町民から聞いた。保育所不足の課題もあるように思う。

課長　保育士の人数増は子どもの状態により判断している。安全に過ごせる保育環境を整えている。

基本的には受け入れる方向で対応するが、保育士の数の問題もある。必要な人数を割り当てた上で受け入れている。（子ども家庭課）

安心コールセンターサービス

議員　サービス用機器57機の維持で270万円かかっている。どのような相談があったか。

課長　転倒、腰痛、息苦しいという内容で計8件あった。安心して暮らせるよう、事業を進めている。（福祉課）

高齢者外出支援

議員　タクシー券やサブロカードの申請率は50・9％。計上予算2878万円中、使用は1819万円。差額も含めて、事業の評価は。

また地区ごとの割合は。

課長　当初の申請率の目標は35％としていた。利用率は63％で、利用率向上が今後の課題。

地区ごとの割合は確認していないが、特色が出ると思われる。検討をする。（福祉課）

学校給食

議員　一食当たり389円とのこと。米が高騰している時期にいくらで購入していたのか。

所長　玄米60キロ当たり2万1千円で購入していた。（給食センター）


町内産米購入で地産地消

クリーンステーション

議員　回収日前日にゴミ出しをする人が多く見られる。熊出没の原因にもなる。対策は。

課長　地区の環境美化推進委員に、研修会を通じ、周知徹底していく。（町民生活課）

権利擁護

議員　相談件数62件とある。対応はどのようなものか。

成年後見制度の普及啓発はどのようにしているか。メリットや注意点は伝えているか。

課長　相談は虐待や不適切な対応など、その内容は様々である。

成年後見制度の周知は、町広報のほか、必要な方に対して行っている。国も制度改定の見直しを進めているようである。伝える内容に注意しつつ周知を進めていきたい。（福祉課）

資源回収奨励

議員　1キロあたり4円で奨励金を交付しているが、回収量は変化しているか。

老人クラブからあまりお金にならないとの話を聞いた。このままでは実施する団体がどんどん減少してしまう。金額が増えるよう何かしら対応が必要なのでは。

課長　昨年度同様の31団体が実施しているが、20トンほど減少している。

団体数の減少は危惧しているところである。増額も含めて検討していく。（町民生活課）


実施団体の増加を目指して

スポットエアコン

議員　排熱口からの温風を調べたところ、50～60度ほどの温度。この排熱があっても冷えるのか。

ダクトの温度も40度程度になる。断熱カバーの設置は。

課長　設置個所によって、温風を外に排出できる場所、できない場所があるが、どちらも冷えることは確認できている。より良い方法を模索していく。

現在ダクトのカバーは設置していない。今後の状況を見つつ対応をしていく。（教育総務課・生涯学習課）


総合体育館に設置したスポットエアコン

まほろば夏まつり

議員　まほろばホールでの開催時は、来場客数も多く、シャトルバスの予算もかかっていない。このまま総合運動公園での実施を考えているのか。

町民、飲食店双方から不評の声を聞く。その声をどのように反映させていくつもりか。

課長　まほろばホール開催時の来場者数は累計であり、総合体育館開催とは集計方法が異なる。実施場所については実行委員会での判断となる。

　会場周辺の住民の方のことも考える必要がある。ご意見を参考にし、協議していきたい。（商工観光課）



令和8年度も総合体育館で実施した

子育て支援住宅

議員　空室が5戸あるが、その状況は。支援住宅を出た後の調査は行っているか。

支援住宅を出た後も町内に住んでもらうための工夫は。

課長　空きは落合が多く、随時募集している。支援住宅を出た5戸中4戸が大和町内に転居している。1戸については仕事の関係で仙台市泉区へ転出した。

　定住してもらえるよう、政策を検討していきたい。（都市建設課）

下水道

議員　今後、生活機能を一定の場所にまとめて効率化したコンパクトシティ化を考えていく必要もあると思う。コンパクトインフラの考えも必要だと思うが、どう捉えているか。

課長　下水道も人口が減少していく地区は使用率が減る。浄化槽への変更も必要だと考える。他自治体とも情報交換しつつ検討していきたい。（上下水道課）

おばなざわ花笠まつり

議員　本町の事業であるのに参加人数が減少していると思うが、それについてどう考えるか。

他自治体では職員が参加している例もある。職員や町内の学生参加の考えは。

課長　参加者が減ってきていることは危惧している。今後の周知を工夫していく。

　職員が参加する例は把握している。職員や学生の参加については今後検討していく。（商工観光課）



参加人数の増加を

普及啓発活動

議員　上下水道のPRキャラクター「しずく丸」の稼働率、活用内容は。

キャラクターによる啓発は子どもがメインだと思われる。保護者に対しての啓発活動のビジョンは。

課長　令和7年7月から着ぐるみを稼働し、町内の保育所・児童館を訪れるなど、令和7年度は合計11回の稼働である。昨年度行ったアンケートで声が多かった歌・ダンスを制作し、保育所・児童館で実施している。

　今後水道施設や検針、漏水確認の動画を制作し、SNSで発信することで大人に対してのPR効果もあると考える。（上下水道課）



PRキャラクター しずく丸

町道沿いの除草

議員　町道沿いの除草について、田んぼ沿いはやっていないと思う。耕作者が気を利かせてやっている例もあると思う。今は良くても代替わりの後も、引き続きやってくれるとは限らない。今後の維持管理に対しての考えは。

課長　町道の除草は歩道付きの道路をメインに委託している。農家の方々にご厚意で刈ってもらっている部分もある。本町のみならず全国的な課題。調査を進めていく。（都市建設課）

ため池管理

議員　昨今、線状降水帯など、短時間で大量に雨が降る機会が多い。水抜きなどの対応は。

課長　ため池は地域の方々に協力してもらって管理している状態である。今後も連携して管理していく。（農林振興課）

林道七ツ森湖泉ヶ岳線

議員　令和10年までを予定していた工事が令和30年まで伸びるとのこと。予算もかなり増額となっている。少しでも早く工事を終えてもらうため、トップダウンで強く要望をしてもらいたい。

課長　当初の計画から工期、金額と共に大幅に変更されている。この林道が通ることで、林道目的以外にも効果を得ることができる。早期に完成できるよう、町から要望していく。（農林振興課）



少しでも早い完成を

予算執行は適正か？ 町長に問う

決算特別委員会で出された主な質疑を常任委員会ごとに町長に再質問した。

都市建設課、商工観光課に問う

産業建設常任委員会
代表　平渡（ひらわたし）　亮（りょう）　委員

子育て支援住宅の制度効果と今後の運用について

問　**子育て支援住宅は5戸の空きがある。決算審査で明らかになった入退去実績や条件などの課題を踏まえ、今後の制度改善や住宅施策への反映について伺う。**

答　子育て支援の目的は達成していると評価する一方、地域コミュニティとの融和が課題と捉えている。退去者は吉岡などの住宅地への転居が多く、本町の魅力伝達を実感している。今後は退去要因の分析や移住定住補助金での魅力発信を行い、安心して住み続けられるまちづくりを推進していく。

観光施設・観光資源の価値を高める施設経営について

問　**七ツ森周辺の観光施設などは地域資産として親しまれる一方、老朽化や維持管理費増への対応が求められる。施設ごとの政策的価値と費用対効果評価、ならびに持続可能な施設経営の方針については。**

答　既存施設は憩いの場や経済効果をもたらす価値がある一方、老朽化による維持管理コストの増加から役割の再評価が必要である。令和8年度中に「再整備構想」を策定する予定である。民間活力の活用や機能再編を含め既存施設の優先順位を定め、地域資産の価値最大化に取り組んでいく。

観光・農産物等を一体化した戦略的プロモーションについて

問　**観光PRや農産物発信などの個別事業を統合し、観光・食・特産品などを一つの地域ブランドとして編集することが重要だ。関係部署が連携し情報資源を共有しながら、横断型プロモーションへの発展について伺う。**

答　個別発信にとどまらず、観光や食、農産物などを統合した地域ブランドとして効果的に発信することは重要と認識している。これまでも特産品開発やSNSでの集客に取り組んできたが、今後は関係課の情報共有を強化する。「横断型プロモーション」へ発展させるため検討を進めていく。



七ツ森ふれあいの里バンガロー

まちづくり政策課、総務課、危機対策室に問う

総務常任委員会
代表　堀籠（ほりごめ）　副委員長
日出子（ひでこ）

移住定住施策の展開について

問　**多額の予算が執行された移住定住伴走型支援の効果を最大化するため、単なる補助金の交付にとどまらず、移住前の段階から空き家バンクなどの情報や相談窓口を提供し、将来も安心して大和町に住み続けられる仕組みを構築すべきと考えるが町長の所見を伺う。**

答　移住前から定住までの段階に応じた戦略的支援が必要と認識している。移住前は空き家バンクやお試し住宅の検討で情報提供を強化している。定住促進に向けては子育て世帯への補助対象年齢を18歳まで拡充するなど、制度見直しや奨学金返還支援などを展開している。今後も正確な情報発信と充実した定住支援を通じ、若者が定住したくなるまちづくりを進めていく。

行政区内交流促進支援事業の目的は達成できたか

問　**令和7年度に新規執行された本事業について、単に補助金を交付した実績にとどまらず、当初の目的である幅広い住民の交流促進をどれだけ引き出せたか。初年度の執行結果を踏まえた課題と、申請や報告に係る会計の透明性担保について町長の所見を伺う。**

答　26行政区で夏祭りや防災訓練などが実施され、住民交流の促進という目的は一定程度実現できたと評価している。一方で周知時期や制度理解の不足から申請が留まったため、今後は他地区の活動事例の共有を含め組織の持続可能な活性化を共に推進していく。透明性の担保については実績報告時の会計監査と総会決議を通じて適切に確認を行っていく。

災害への備えは万全か

問　**防災予算の真の目的は単に倉庫に資機材を揃えることではなく「いざという時に住民同士が助け合える体制」を築くことである。要支援者の把握をはじめ、新旧住民を巻き込んだ地域が一体となった活動体制の構築に結びついているか町長の所見を伺う。**

答　助け合える体制構築は基本方針であり、自主防災組織への支援や講習会、毎年2百名規模の地域防災訓練を通じて実践的対応力の向上を図っている。要支援者の把握については避難行動要支援者名簿などの作成を進める一方、個人情報保護とのバランスに配慮し適切に管理している。今後も地域が一体となった防災活動体制の構築に全力で取り組んでいく。



防災倉庫（吉田地区）

町民生活課、健康推進課、教育総務課に問う

社会文教常任委員会
代表　佐野（さの）　瑠津（るつ）　委員

ごみの投棄を防ぐには

問　**道路沿いや河川敷などでのポイ捨ては町の景観や生活環境を損なうほか、更なる環境悪化を招く。監視カメラや看板設置、啓発活動を行っているものの年2トンを超えるごみ回収が続く現状に対し、ポイ捨てを未然に防ぐ実効性のある防止策が必要だが。**

答　ポイ捨ては罰則のある犯罪行為であり、毎年多くの回収が続く現状を重大に受け止めている。多岐にわたる要因から特効薬的な対策はないが、看板や監視カメラの増設、法規範の遵守を訴える広報活動、環境教育による規範意識の醸成を地道に推進していく。ポイ捨てのない清潔で美しい地域社会の実現に向け、町民の理解と協力を得ながら対策を強化していく。

自殺対策緊急強化事業について

問　**自殺対策基本法の改正により子どもの自殺対策協議会を設置できる仕組みが整った。深刻化する子ども・若者の自死に対し、支援が必要な人を待つだけでなく日常の小さな変化やSOSを早期に気づき必要な支援へ繋ぐ取り組みをどう強化するか伺う。**

答　子どもの自死は極めて重要な課題であり、待つ支援から「こちらから気づき繋ぐ支援」への充実が必要と認識している。改正法で示された協議会の設置にあたっては、単に新たな組織を増やすのではなく既存の自死予防対策連絡協議会などの枠組みや機能を整理して連携を図る。国のモデル事業や先行事例を調査し関係機関と協議しながら検討を進めていく。

英語教育の向上について

問　**グローバル化が進む中、外国語による実践的なコミュニケーション能力の育成が重要であり、ALTの配置は生きた英語に触れる大きな役割を担う。令和7年度決算で21、34万円を計上し6名を配置しているが本町の特色ある取り組みについては。**

答　町内8校へ6名のALTを配置する非常に手厚い体制を構築している。通常実施されない小学1・2年生での外国語活動（年間10時間程度）やペアワーク、給食などでの日常的な交流を通じて自然に英語へ親しめる環境を整えている。今後も間違えを恐れず堂々とコミュニケーションを楽しめる環境づくりを進め、国際感覚と実践的な英語力の育成に努めていく。


実践的な英語力の育成を

令和7年度決算認定
予算は正しく使われたか？

全般的に妥当

代表監査委員
内海（うちみ）　義春（よしはる）



○審査の結果

審査に付された「令和7年度各種会計決算」は、決算計数に誤りなく、歳入確保の努力、歳出の効率性が保持されている。書類も整備されており、会計経理は全般的にみて妥当と認定した。

○決算審査意見

一般会計の歳入状況は町税収入が72億5245万円で、前年度と比較し、8億9459万円上回った。地方交付税は、普通交付税が2年ぶりに交付団体となり、3億4683万円が交付された。

今後、各種施設の更新、維持管理などに要する費用が見込まれることから、財源の重点的かつ効率的な配分を念頭に各種事業の遂行に全力を尽くすとともに、経費の節減合理化に更なる努力が求められる。

一般会計の予算現額に対する執行率は約94％になっている。

令和7年度各種会計決算は、適正に執行されたものと認めた。

一口メモ

「決算認定」

決算は、町に入ったお金（収入）や使ったお金（支出）の実績。

「決算認定」とは議会が一年間の決算内容を確認し、確定すること。

一般質問

議員12人が町長と教育長に質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

１人60分の制限時間。議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。
本会議場での傍聴をお待ちしています。

●一般質問はYouTubeで配信しています。

YouTubeの配信動画はこちらから。



犬飼（いぬかい）　克子（かつこ）

質問者の動画が視聴できます

再犯を防ぐ更生支援、町全体で推進しよう



大和町における再犯防止と更生支援の強化について

町長　町民全体の理解向上に努めていきたい

議員　犯罪や非行をした人が刑期を終えて地域に戻った際、孤立することは再犯の大きな要因となる。安全で安心な大和町を築くため、罪を犯した人を地域社会から排除せず福祉や就労支援を通じて包摂し再犯を防ぐ仕組みづくりが不可欠である。

県が策定した第二次再犯防止推進計画の目標を踏まえ本町でも計画を策定する考えは。また、雇用する協力雇用主に対し入札での加点評価など独自の支援を導入するとともに更生保護女性会などの活動をバックアップすべきでは。

町長　再犯計画策定については、次期大和町地域福祉計画に包含する形で策定したいと考えている。

協力雇用主に対する建設工事の入札における優遇措置については、総合評価落札方式への反映から検討を進めたいと考えている。

更生保護女性会などの担い手不足に対しては、単なる財政支援にとどまらず、活動の意義や社会的役割の周知を通じた新たな参加者の確保に向けた施策を関係機関と協力して検討し、町広報紙やホームページなどを活用して町民全体の理解向上に努めていきたい。



その他の質問

・感震ブレーカーの普及を
・リトルベビーへの支援について



佐々木久夫（ささきひさお）

質問者の動画が視聴できます

厳しさ増す一次産業、機械化で希望の未来へ



希望の持てる一次産業へ

町長　支援・働きかけをしていきたいと考えている

議員　全国的に農林業従事者は減少傾向であり、離職が多い。

　重労働を減らし、収入を増やすためには、機械作業への移向が必要である。農業機械購入助成金の増額と購入者を増やすことについて県や国への要望が必要だ。

　吉田地区で進められている農業生産基盤整備事業の現在の進捗状況と今後の進展と、中山間部での果樹栽培奨励について考えを伺う。

町長　町単独の助成制度として集団営農用機械整備事業や機械共同購入事業を実施しており、国や県に対しスマート農業導入への財政支援や補助・支援制度の拡充などを強く働きかけている。

　吉田地区の農業生産基盤整備事業は金取北地区や沢渡地区で手続きを進めているが、手続きの工程が多く「地域の総意」が最も重要となるため、当初計画より約2年遅れている。地域農業の課題解決に向け着実な事業化を図るため、農家の切実な思いをしっかりと県へ伝えたいと考えている。

　中山間部での果樹栽培奨励については、初期投資や栽培技術の習得、鳥獣害対策などのハードルが高いと捉えている。



イメージ画像

その他の質問
・インフラ維持管理について



児玉金兵衛（こだまきんべえ）

質問者の動画が視聴できます

新しい校庭でみんなで運動会を

吉岡小学校も「運動会」行うべきでは

教育長　適切に指導・助言を行う

議員　町内6校の小学校の内、吉岡小学校だけが運動会を行っていない。新たに体育参観を行っているが、平日開催では参観できない保護者が多いうえ、全学年総出による集団行動も体験できない。

　校庭の整備も済んだ。吉岡小学校も運動会を行うべきでは。

教育長　運動会や体育参観は学校長の権限と責任の下で計画される学校行事である。

　一方で、児童の安全確保や教育効果の観点から、教育委員会としても適切な指導・助言を行うべきものである。運動会と体育参観の開催方法については、保護者・教職員双方から賛否両論の意見があるが、保護者がより多く参観できる土日の開催について、検討していくとの考えを示している。

　全学年が参加する集団行動については、近年の猛暑による熱中症の危険性や児童の体力的な負担など、安全面に課題がある。他校の状況も、時間短縮や学年別分散開催へ移行が進んでいる。

　児童の安全・安心な学びの環境確保や熱中症対策への配慮を最優先とし、保護者の声や時代の変化に柔軟に対応できるよう、適切に指導・助言を行っていく。





平渡（ひらわたし） 亮（りょう）

質問者の動画が視聴できます

実感とデータで測る、幸福度の高いまちづくり



地域幸福度を高める町政運営について

町民の幸福度向上に結び付けたい

議員　地域に暮らす人々の幸福や暮らしの質を捉える考え方として地域幸福度（ウェルビーイング）指標がある。これは住民自身が感じる主観的な評価と医療や交通などの客観的なデータを組み合わせ、地域の暮らしやすさと幸福感を多面的に捉えるものである。

　こうした指標を活用し生活満足度や地域への愛着など町民の実感を分析して今後の施策形成や評価に活かす考えはあるか。また、大学や企業との産学官連携の推進について伺う。

町長　行政評価において主観的な満足度や愛着などの実感と客観的データを組み合わせる地域幸福度の考え方は極めて重要な視点と認識している。

　総合計画改定時のアンケート調査では住みやすさの実感や将来の定住意向など多角的な項目を網羅しており、地域幸福度指標の構築に資するデータを得られたと捉えている。

　産学官連携については宮城大学との連携に加え、東北学院大学地域連携センターとの打ち合わせを契機に専門的知見を施策や指標構築に活かす協議を進め、高度な施策を行い町民の幸福度向上へ結び付けていきたい。



イメージ画像

その他の質問

- 里山資本主義の視点による地域エネルギーの活用について
- 地域経済循環を高めるまちづくりについて



森（もり） 秀樹（ひでき）

質問者の動画が視聴できます

森林資源を活かし、Jークレジットで脱炭素へ



Jークレジット制度の活用を

町長　可能性について研究を進めていく

議員　大和町都市計画マスタープランなどにおいて「ゼロカーボンシティ」の実現や森林資源の保全・利活用を重要課題に掲げている。現在、吉田地区で森林経営を担う一般社団法人吉田愛林公益会がJークレジット創出に向けた先進的な取り組みを進めている。豊かな森林を官民連携で適正に整備・維持することは、脱炭素にとどまらず水源かん養や土砂災害防止、獣害対策、地元林業の雇用創出など大きな価値を持つ。現状の評価と地産地消型マッチングなどの環境づくりを伺う。

町長　森林Jークレジットを活用したプロジェクトは、環境施策において大きな意義を持つと認識している。

　地球温暖化対策にとどまらず水源かん養や土砂災害防止、獣害対策、農林業の雇用創出など持続可能な産業基盤の確立に向け関係事業者や地域と相互に連携し、官民一体となった地域循環型の事業創出となるよう支えていきたいと考えている。

　クレジットの地産地消型のマッチングは、地域経済活性化や企業のESG経営などを支援する上で大変有効な手法と捉えている。



その他の質問

- 不登校児童生徒への多様な学びの機会を



佐野（さの）　瑠津（るつ）

質問者の動画が視聴できます

町民の挑戦を応援しよう！



コンテナ型チャレンジショップを

町長　適切な仕組みづくりを調査研究していきたい

議員　新規に創業したい場合、店舗の確保や設備など初期費用が大きなハードルとなり、一歩を踏み出せないケースがある。町民の「やってみたい」を後押しし、小さく事業を始め、経験を積める場を提供することは創業支援や地域経済の活性化、新たなにぎわい創出につながる。

町有地を活用しコンテナ型のシェアキッチンを備えたチャレンジショップを設置し、創業機会を提供することや官民連携も含めて取り組む考えは。

町長　チャレンジショップは初期投資を抑え、商いの経験を積む機会を提供する有効な手段と認識している。

町有地を活用したコンテナ型店舗の設置は新たな創業支援策として非常に有効な手法であり、施設の維持管理や土地の利用調整などの課題を整理し進められるか検討していきたい。

運営面においては、商工会や民間事業者などのノウハウや地域ネットワークを活用する官民連携の手法が実践的な経営相談や伴走支援を行う上で極めて有効と捉えている。先進地事例も確認しながら適切な仕組みづくりを調査研究していきたいと考えている。



その他の質問

・多様な視点からの避難所運営や防災対策を



馬場（ばば）　良勝（よしかつ）

質問者の動画が視聴できます

集中豪雨に備え、迅速な復旧と体制強化を



豪雨時の道路被害と河川水害への対応強化を

町長　実効性の高い情報共有体制のあり方を検討

議員　近年、線状降水帯などによる豪雨災害が頻発し、本町でも7月末の大雨で町道の冠水や道路の再破損が発生し、迅速な対応が求められている。

豪雨時における職員間の配備体制や情報共有方法は。

また、被災後の道路の損傷に対し、応急補修に留まらず、原因を検証し、再度の損傷を防ぐ本格的な改修につなげるべきである。

さらに増水時に、各排水機場で協力を得る、地域住民間の情報共有システムも必要では。

町長　職員配備体制は地域防災計画に基づき段階的に配備しており電話やＳＮＳを活用して情報伝達を行っている。

情報共有は、地元の警察や消防、区長や自主防災組織などからの情報や、国や県から派遣される災害対策現地情報連絡員からの予測情報などにより、避難指示の発令を判断している。

被災箇所の本格改修については、大規模の場合は国による現況復旧となるため、国への要望活動の中で改良復旧を要望していく。

近隣自治体のＩＣＴ活用事例や地域住民の意見も伺い、実効性の高い情報共有体制のあり方を検討していく。



その他の質問

・町長就任3年間の成果と今後の町政運営について



宮澤（みやざわ） 光安（みつやす）

質問者の動画が視聴できます

植物と触れ合う体験、豊かな心を育もう



植物を育てる教育を

教育長　重要な教育活動と認識している

議員　**子どもの頃から花や木、農作物などの植物に触れ合うことは、生命の尊さや植物への優しさ、収穫の喜びが生まれ、人格形成につながると考える。**
小中学校では何を育て、授業を何時間確保しているか。さらに、町内の教育施設にある樹木の管理は適切にされているか。8月に実施した樹木点検講習会の成果も含め、教育長の考えを伺う。

教育長　植物を育てる体験は責任感や生命の尊さを実感し豊かな情操と知識を身に付ける重要な教育活動である。小学校低学年では生活科でアサガオやミニトマト、中学年以降は理科や総合的な学習の時間でヒマワリや稲刈りなどを体験している。中学校技術科でも野菜の栽培に取り組んでいる。時間は小学校全体で年間概ね50～80時間、中学校技術科で概ね10時間である。
樹木の管理は日常点検や専門業者への委託で安全確保に努めている。令和8年度から学校業務員の専門的な知識を高めるため、8月に「樹木点検講習会」を実施し、支柱の修正や傾斜の点検などの研修を行った。今後も安全を最優先に適切に剪定や環境整備に万全を期していく。



その他の質問

- **本町に植栽されている街路樹について**
- **公共事業における業者の破産と今後について**



渡辺（わたなべ） 良雄（よしお）

質問者の動画が視聴できます

時代の変化に対応し、危機管理体制を強化

危機管理体制の見直しは不断に行なわれているか

町長　総合的な対応能力を高めてまいりたい

議員　**近年、巨大地震や水害が頻発しており危機管理体制の不断の見直しが求められる。**
危機対策室を危機管理室へ名称変更し、分掌事務を検討する考えはあるか。また、ドローンの装備化や、町公式SNS登録者を増やす施策については。さらに広域応援協定に基づき平時において応援時の人や物の基準を定めているか伺う。

町長　危機管理体制の不断の見直しは重要な視点と認識しており、組織名称については「危機管理室」を採用する自治体が多いことも承知している。
重要なのは組織が住民の安全・安心を最優先に効果的に機能することかと捉えている。
地域防災計画に基づく年次計画の策定にて、組織の総合的な対応能力を高めていきたい。
ドローンの活用については被害確認や情報収集に有効な手段であるが、課題もあるため、先進事例を参考に活用方法を検討していく。
広報紙やイベントでの周知に加え、町公式LINEの運用充実に取り組んでいきたい。
応援協定先との連携が基本であり、現状では詳細な人・物の基準明確化は行っていないが、迅速な応援体制を検討していきたい。



一口メモ

「広域応援協定」
大規模災害時に自治体間や関係機関と相互に職員や物資を支援する協定。



櫻井（さくらい）　勝（まさる）

質問者の動画が視聴できます

地域の安心・安全を第一に！



一級河川身洗川周辺の治水対策について

町長　適切な維持管理を県と連携して実施していきたい

議員　**落合地区を流れる吉田川支流の身洗川は大雨が降るたびに水位の上昇で内水や水路の水を排水しきれず、下流の地域は未だに水害の危機に直面している。**
地域の安心・安全を最優先に考え、町として県に強く働きかけるなど、スピード感のある対応が重要ではないか。

町長　身洗川は重要な河川の1つであり、治水はもちろんのこと、沿川地域の農業用水の役割を担っている。
大雨時などで河川の水位がより高くなった際には、水路内への滞留や水路を越流し、周囲が冠水するなどの事象が度々発生している。特に近年は、これまでにない大雨が毎年のように発生しており、その影響は年々増えていると認識している。
身洗川を含む鳴瀬川水系吉田川流域については、令和5年7月18日に特定都市河川の指定を受け、令和6年11月に「吉田川・高城川命と生業を守る　流域治水推進計画」を策定している。
また、身洗川や周辺水路などの堆積土砂の撤去や支障木の伐採など、適切な維持管理についても県と緊密に連携しながら実施していきたい。



その他の質問
・蒜袋地区の3事業の一体化整備実現を



本田（ほんだ）　昭彦（あきひこ）

質問者の動画が視聴できます

危険なブロック塀を解消、通学路の安全を



危険ブロック塀について

町長　大幅な改善が進んでいると捉えている

議員　**大規模災害時のブロック塀倒壊による人的被害や通学路の寸断を防ぐため、危険箇所の把握と改善を着実に進める必要がある。**
現在の危険箇所の把握状況と、費用補助制度を設けているが、除去がなかなか進まない要因をどのように捉えているか。
また、通学路以外の対象拡大や自己負担軽減など補助要件の見直しに対する今後の考え方について町長の所見を伺う。

町長　危険なブロック塀の解消は町民が安心して暮らせる環境づくりのため重要と認識している。
令和8年3月時点では、大幅な改善が進んでいるが中程度以下の除去が進まない要因については、自己負担の発生や、危険性の認識不足などが影響していると考えている。危険度の高い箇所に対し、県と町が一体となって文書通知や訪問説明を実施し、所有者へ直接働きかけを行っている。
補助要件の見直しについては、今後の改善状況や要望を踏まえつつ、通学路以外のブロック塀への対象拡大や自己負担軽減、手続きの簡素化などについて県や関係機関と協議しながら検討を進めていきたいと考えている。



イメージ画像

その他の質問
・公共性の高い私道の整備について

渋滞対策について

町長　県や近隣自治体と連携しつつ取り組んでいきたい



槻田　雅之（つきた　まさゆき）

質問者の動画が視聴できます

通勤・物流の交通量増、
安全な渋滞対策を



議員　テクノヒルズには多くの企業が進出し、本町の製造品出荷額などを支える一方で、通勤や物流による周辺の交通量は大幅に増加し、朝の通勤時間帯は小野小学校の登校やスクールバス運行と重なり、住宅街への抜け道侵入も課題となっている。

今後も交通量増加が予想される中、県や企業への働きかけや別ルートの検討など、生活道路への進入抑制や減速などの安全対策について町長の考えを伺う。

町長　テクノヒルズ周辺の朝夕の通勤渋滞や生活道路への抜け道侵入は、歩行者の安全や住環境に関わる重要な課題と認識している。

県に対しては、県道の渋滞緩和策について要望書を提出しており、企業に対しては合同打ち合わせなどを行っており、バス路線延伸の要望などを受け、協議を進めている。

生活道路への進入抑制対策として、まずは幹線道路の渋滞緩和を図ることが抜け道利用の抑制に繋がると考えている。

テクノヒルズと国道4号を結ぶ高規格道路についても検討を進めており、県や近隣自治体と連携し、幹線道路の渋滞緩和と安全対策に取り組んでいきたい。



イメージ画像

その他の質問

・高齢者支援で訪問サービスの周知・充実と雪下し補助
・庁舎の防犯体制について

令和８年度 議場コンサート鑑賞者募集

議会を身近に感じていただくため、議場を会場として、
大和中学校吹奏楽部による素敵な生演奏をお届けします。



昨年度演奏を行った宮床中学校吹奏楽部

日時　令和８年12月24日(木)
午後０時20分開演

場所　大和町役場 ３階
議会議場

演奏団体　大和中学校 吹奏楽部

募集対象　町内在住者・通勤者・通学者

定員　80名　※事前申し込み制
応募多数の場合は抽選

申し込み期間　11月２日(月)～
11月25日(水)

応募方法　下記の応募フォームからお申し込みください
https://logoform.jp/f/wut0Q

※右の二次元コードからもアクセスできます。

抽選結果の発表方法　11月30日(月)にメールにてお知らせいたします

鑑賞料金　無料

ご来場をお待ちしてます。



一目でわかる審議結果

議案番号等	議案	賛成	反対	議決結果	本田昭彦	佐野瑠津	宮澤光安	平渡亮	櫻井勝	森秀樹	佐々木久夫	犬飼克子	馬場良勝	今野信一	渡辺良雄	槻田雅之	堀籠日出子	大須賀啓	児玉金兵衛	今野善行	提案者
９月定例会議（９月１日～17日）																					
報告第１２号	専決処分の報告について（令和８年度大和町一般会計補正予算）	－	－	報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	町長
報告第１３号	専決処分の報告について（工事請負契約の変更について）	－	－	報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
議案第６１号	大和町放置自転車等処理条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第６２号	大和町印鑑の登録及び証明に関する条例及び大和町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部を改正する条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第６３号	大和町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第６４号	大和町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第６５号	大和町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第６６号	令和８年度大和町一般会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第６７号	令和８年度大和町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第６８号	令和８年度大和町介護保険事業勘定特別会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第６９号	令和８年度大和町後期高齢者医療特別会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第７０号	令和８年度大和町吉岡西部土地区画整理事業特別会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第７１号	令和８年度大和町下水道事業会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第７２号	令和８年度大和町水道事業会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第７３号	財産の取得について	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第７４号	損害賠償の額を定め、調停を成立させることについて	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
報告第１４号	令和７年度大和町健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	－	－	報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	令和７年度大和町歳入歳出決算審査の報告について	－	－	報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	令和７年度財政健全化審査及び経営健全化審査の報告について	－	－	報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	決算特別委員会の設置について	15	0	決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	議長
認定第１号	令和７年度大和町一般会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	町長
認定第２号	令和７年度大和町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
認定第３号	令和７年度大和町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
認定第４号	令和７年度大和町宮床財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
認定第５号	令和７年度大和町吉田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
認定第６号	令和７年度大和町落合財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
認定第７号	令和７年度大和町奨学事業特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
認定第８号	令和７年度大和町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
認定第９号	令和７年度大和町吉岡西部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
認定第１０号	令和７年度大和町下水道事業会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
認定第１１号	令和７年度大和町水道事業会計歳入歳出決算の認定について	15	0	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議案第７５号	令和８年度大和町一般会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
同意第１２号	教育委員会委員の任命について	14	1	同意	無記名投票															※	
委発第１号	大和町議会基本条例の一部を改正する条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	委員長

○…賛成　●…反対　「欠」…欠席　※ 議長（今野善行）は、賛否が同数でないかぎり採決に加わりません。

～TAIWA VOICE～

吉岡小学校稲刈り体験で聞いた皆さんの声

Q.稲刈りを体験してどうでしたか？

10月５日(月)に、吉岡小学校の稲刈り体験が行われました。
地域の方々に稲刈りを教わりながら、秋の実りを満喫していました。



毎日食べるお米が、こういう風にできるとは思わなかった。
（５年１組　小野（おの）　叶真（とうま）さん）



一粒一粒に、こんなに手間がかかっている事におどろきました。
（５年２組　矢部（やべ）　遥香（はるか）さん）



お米がこんな風に作られているのかと感心しました。
（５年３組　菊地（きくち）　明奈（あきな）さん）



田植えから稲刈りまでの作業が、一つ一つこんな風にやってるんだとビックリしました。
（５年４組　丸屋（まるや）　陽心（はると）さん）

「パルクールを知ってほしい」

杜の丘在住の佐藤（さとう）功基（いさき）さん（富谷高校１年）は小学校１年生からパルクールを習い始めました。今年５月、韓国で開催されたアジア大会にて、スキル部門・フリースタイル部門で８位に入賞するなど、アジアトップレベルで活躍しています。将来の目標は「パルクールの認知度を上げたい。大学で映像を学び、動画を通してパルクールを広めていきたい」と話します。

現在は、小野地区にある教室を拠点に活動しており、多くの後輩たちの憧れの存在として、学業と両立しながら、日々トレーニングに励んでいます。



【パルクールとは】
障害物を使って走る・跳ぶ・登るなど、アクロバティックな技を繰り出すフランス発祥のスポーツ。

編集後記

令和８年の夏は度重なる長雨や局地的な豪雨により、全国各地で甚大な災害が発生しました。自然の猛威と日頃の備えの大切さを痛感します。被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

さて、９月定例会議では決算委員会が開かれました。前年度の各事業が適正に執行されたか、皆様の貴重な税金が有効に活用されたかを慎重に審査されました。今号ではその主な審議内容を分かりやすくお届けします。今後も住民の皆様の声に寄り添い、安全で安心して暮らせるまちづくりに議会で取り組んでまいります。

編集委員　森　秀樹

※議会だよりに掲載している写真は、本人、保護者等の許可を得て撮影・掲載しております。

議会を傍聴してみませんか？

受け付けは役場３階議会事務局にて行います。ぜひお越しください。また、議会インターネット中継も行っております。
二次元コードから配信をご覧いただけます。

次回定例会議は

期間	12月１日㈫から12月８日㈫まで
一般質問	12月１日㈫から12月３日㈭まで

の予定です。

大和町議会事務局
TEL:022-345-7506
メール:gikai@town.taiwa.miyagi.jp

議会広報常任委員会

編集発行責任者
議　長　今野　善行
編集委員
委員長　犬飼　克子
副委員長　児玉金兵衛
委　員　本田　昭彦
委　員　佐野　瑠津
委　員　平渡　亮
委　員　森　秀樹

この印刷物にはVOC（揮発性有機化合物）成分ゼロの環境にやさしい100%植物油型インキを使用しました。